

かさまっ子

題字：夏休み作品コンクール 書写毛筆の部 笠間市長賞受賞 生天目 結衣さん

創刊号

子ども会会員数
(平成23年3月現在):4,789人
編集・発行
平成23年4月 笠間市子ども会育成連合会

●もくじ●

会長挨拶	1
矢板市子ども会交流会/子ども会球技大会	2
友・遊ランド	3
夏休み作品コンクール/子どもフェスティバル	4
リーダー研修及び交流会/安全会	5
笠間市子ども会育成連合会組織図/コラム	6

H21 茨城県優良子ども会育成会受賞 **末広子ども会育成会**



優良子ども会・育成会 受賞



H21 茨城県優良子ども会受賞 **池野辺子ども会**

稲荷町子ども会 H19 全国優良子ども会受賞

昨年、危機管理と広報との二つの委員会を設立し、それぞれの担当理事の方々には大変なご尽力をいただいたことに感謝します。

会報は、会の事業計画や結果報告の他、育成会員や関係機関の方々に関連情報を提供し、育成会と関係者との連携に役立てて欲しいとの願いもあります。

新生笠間市が発足してから5年、同時に子ども会育成連合会も活動を開始し継続してきました。新組織の運営には、各地域で育まれてきたそれぞれの事業や主義手法があり、それらの長所を取り入れた活動が主流となりました。

しかし、我々の「子どもたちの安全・安心の地域づくり」と「子どもたちの健康づくり」、「社会の一員を成す人間形成」等を目的とした各種の事業が、市内の全域隅々まで浸透したとはいえません。これらの現状を分析すると各種の要件はありますが、我々の宣伝不足が一番であることに気づき「会報」を発刊することになりました。

広報誌発刊に寄せて



会長
湊 節雄



笠間市・矢板市 子ども会交流会

5/30(日)

矢板市のお城(川崎城)

のお殿様「塩谷朝業」と笠間のお城のお殿様「笠間時朝」が親子であることから昭和55年7月に姉妹都市が誕生しました。それ以来笠間市と矢板市の交流が続いています。

子ども会の交流も当初は育成会役員の交流でしたが、現在は子どもたちの交流に変わり、育成会役員はもとより、子ども会を指導する高校生会も相互交流されています。

1年おきに相互訪問を実施し21年度は笠間で笠間焼を体験、22年度は矢板市の尚仁沢にハイキングをして、県民の森では、参加者全員が「マイはし」を作り交流を深めました。笠間からの参加者は、子ども63名・市の職員・高校生会・育成会

役員等16名がバス2台にのり乗して楽しい1日を過ごしました。

理事 櫻村 ふみ江



交流会みんなでスナップ — 栃県民の森にて —



第4回 笠間市子ども会球技大会



●ソフトボール

7/25 日

第4回笠間市子ども会球技大会ソフトボールの部は7月25日(日)北川根ふれあい広場で、各支部の代表8チームの参加により晴天の中開催されました。

大会は4チームに別れ、A・Bブロックで戦いました。暑い中、選手・父兄は大変だったと思います。

理事 潮田 浩



もらったぞ！先取点

結 果

Aブロック 〈優勝〉柿橋 〈準優勝〉五葉
Bブロック 〈優勝〉大原小連合 〈準優勝〉長兎路・湯崎

●ドッジボール

8/8 日

第4回笠間市子ども会球技大会ドッジボールの部は8月8日(日)笠間市民体育館で、各支部の代表20チーム(ジ



さあレシーブだ！みんな集中！

結 果

〈優勝〉行幸町 〈準優勝〉桂町
〈第3位〉石中 〈敢闘賞〉松山団地
※ジュニアの部 〈優勝〉飛龍 〈準優勝〉大原連合

書記理事 内桶 克之

ユニアを含む)の参加により盛会に開催されました。大会は昨年同様、オープン参加によりジュニアの部(4年生以下の部)を設け、低学年での取組み拡大も視野に入れて開催しています。

大会はまず、5チームによる予選リーグを行い、全チームが決勝トーナメントに進出するもので、予選リーグ1位の行幸町、桂町、石中が順当に勝ち抜きました。また、予選5位から粘り強い試合で勝ち進んだ松山団地がベスト4に勝ち残り、準決勝・決勝は3セットマッチの試合をいずれも2セット連取で行幸町が初優勝の栄冠を手に入れました。

優勝した行幸町、準優勝した桂町の2チームは、県大会に出場しました。

友・遊 ランド

「ドッジで交流 ドッジでどっち」を開催

平成22年6月5日（土）笠間市民体育館において、ドッジボール交流試合（練習試合）・審判（線審）研修会及び個人記録大会を、6チーム（82名）と個人22名の参加のもと、開催しました。

交流試合は、市の大会と同じ12人制で、個人参加者はその場で高学年チームと低学年チームを編成して行いました。

個人記録大会においては、ドッジボールのボールを使い、コントロール勝負の的当てとスピードを競うスピードガン測定を行いました。そのなかで、学年別に上位の人が表彰されました。

各支部大会に備え、交流試合や審判研修会が、一生懸命行われました。

副会長 高橋 謙次

友部地区

6月5日（土）



はずれちゃた

岩間地区

6月6日（日）



ボールリレー早く早く

平成22年度 友・遊ランド（岩間地区）

親子チャレンジ・ランキング大会を、6月6日（日）岩間第一小学校体育館にて、子ども会12チーム（122名）の参加により盛大に行いました。

はじめに30秒間ジャンケン列車を参加者全員で行い、いよいよチーム別対抗競技です。競技内容はペア空き缶積み、洗面器お手玉投げ、フリフリパフォーダンス、ボールリレーなどで、競技毎にタイムや獲得点数で優勝者が決まる。どの競技にも真剣そのものでチャレンジしている子どもたちの熱い声援が鳴り響いた一日でした。

また、ドッジボールの講習会を子ども会毎にチームを編成して試合形式で行い、ドッジボールを通じてスポーツの楽しさとルールの大切さをみんなで共有しました。

副会長 町田 満

笠間地区

2月26日（土）



ア！はいったヤッター！

本年度、笠子連最後の事業となる笠間地区友・遊ランドは2月26日（土）参加者25名のもと笠間市民体育館で「チャレンジランキング」を開催しました。

種目は、制限時間内での得点を競う次の6種目
えんぴつ立て・豆つまみ皿うつし・「の」の字さがし・さいころ「赤」出し・紙ちぎりのぼし・フリフリパフォーダンスで、制限時間に関係のない、洗面器お手玉投げの計7種目です。

2月の寒い体育館の中、参加者は高得点を出すのに一生懸命チャレンジしていました。

得点の集計をしている時間を利用して、皆でモッパかけ競争をして体育館の掃除をしました。

未就学児・1年生の部、2・3年生の部、4・5・6年生の部ごとに上位3名が表彰されました。

今年度の参加者は少なめでした。今後沢山の参加をお待ちしております。

副会長 松江 光祐

夏休み作品コンクール

夏休み作品コンクールは、岩間地区において実施されていた事業を引き続き開催しているもので、子どもたちに夏休み期間中、次の4部門から募集を行いました。

応募作品は、毛筆の部は3年生以上が学年別課題によるもの213点、硬筆の部は1・2年生別の課題によるもの121点、絵画の部は夏休み期間中の子ども会行事など39点、立体作品の部は親子が共同して作る作品8点でした。

82の単位子ども会から合計381点の応募があり、昨年9月11日から26日まで、市民センターいわま1階ロビーにて作品が展示されました。

この中から次の方々が受賞され、11月14日に岩間海洋センターで開催された第4回子どもフェスティバル会場において表彰されました。

会計理事 小林 道雄



さまざまな子ども会の行事をえがいた絵画



学年テーマ別に書かれた毛筆

◆絵画の部 (氏名) (学年) (子ども会)

笠間市長賞	茅根あおい	1	南春日町
教育長賞	丹家 智哉	6	下押辺
笠子連会長賞	小磯 里香	1	下押辺
浦井 美羽	1	吉岡一区	
優秀賞	佐藤 瞭成	1	ひかり
安見 優花	2	下押辺	
野中 玲那	4	下押辺	
特別賞	塙 涼太郎	2	下押辺
三上ひなの	6	福島	

◆書写の部(毛筆の部)

笠間市長賞	生天目結衣	6	五	霊
教育長賞	野口 幹太	3	新	渡 戸
笠子連会長賞	常井 晴加	4	上	押 辺
優秀賞				

◆書写の部(硬筆の部)

笠間市長賞	生駒ひかる	2	日吉町
教育長賞	大関 あこ	1	下押辺

◆立体作品の部(親子共同)

優秀賞	川ノ邊奈々	1	翼
大貫	広成	1	下安居
松田	奈央	2	東組花園
橋本	琉菜	2	南小泉
特別賞	山田 真輝	2	荒 崎
本川ななほ	2	湯 崎	
▼立休作品の部(親子共同)▼			
笠子連会長賞			
常井咲音・雅子	2	下押辺	
優秀賞			
菊池康輝・まゆみ	2	ひまわり	
特別賞			
三浦望美・淳子	6	天 神	

子どもフェスティバル

平成22年11月14日(日)午前9時から正午まで、岩間海洋センターで子ども達への防災意識の高揚、応急手当及び自主救護の普及啓発を目的に、笠間市消防本部、かさまハートサポーターの協力により、第4回子どもフェスティバルが開催されました。

当日は天候に恵まれ、会場は子ども達の笑顔と大きな声でいっぱいでした。



固定したり、血を止めたりの体験

内容は、火災が発生してから消火までのスタンプラリー、梯子車の搭乗体験、けがや大出血の応急手当の方法などです。

さらに、保護者の参加者にはAEDを使用した心肺蘇生法を体験していただきました。

特に火災が発生してから消火までを体験するラリーでは、実際に消火器で的を倒したり、濃煙テントを低い姿勢でくぐり、カードでカレーライスの材料を探したり、水バケツリレーで水をはこぶゲームなど一生懸命でした。

参加した子どもからは、「楽しかった。また参加したい。」という意見が多くありました。

なお、結果は次のとおりです。

- 優勝 日吉町③チーム
2位 日吉町①チーム
3位 日吉町②チーム

会計理事 蘭部 恵一

リーダー研修及び交流会

平成23年
1月30日
日

平成22年度のリーダー交流会は、笠間市立友部公民館の多目的ホール・創作室を利用して、単位子ども会リーダー（小学4・5年生）と単位子ども会育成者約50名参加のもと開催されました。例年とは趣をかえて、単位子ども会へフィードバックし易い「ものづくり」に挑戦していただきました。

1つは、「バルーンアート」です。細長い風船を膨らませてねじりながら「犬」や「うさぎ」などを作りました。当日は、堀川さん幅上さんの両講師に指導を受けて作り方をおぼえました。

2つ目は、「マイはし」作りです。素材は大工さんに準備して頂きました。

まず紙ヤスリで角を削り、先を細くしてから磨きました。次にクルミ油を塗り名前を書いて完成です。皆さん素敵な「マイはし」を作ることができました。

3つ目は「紙ヒコキ」作りです。作り方の説明書きを参考にして、折り曲げたり、切ったり、貼り付けたりして「鳥」の形のヒコキを作りました。できあがったヒコ

キを空いている場所を見つけて飛ばして楽しみました。

以上3つのものづくりを経験し、楽しい時間を過ごしました。最後に、今日経験した「ものづくり」を単位子ども会にもどって伝えていただくよう約束して解散しました。

副会長 松江 光祐



ふうせんをねじって 何ができるかな？

子ども会安全会に入ろう！

◆全国子ども会安全会の内容

全国子ども会安全会会員が、子ども会活動中に発生した負傷・疾病・後遺障害または死亡した場合に共済見舞金を給付します。

単位子ども会または連合組織の役員、指導者及び育成者等の主催者が子ども会活動中の事故により、第三者の身体又は財物に損害を与え法律上の損害賠償責任を負担した場合に保険金を支払います。

★加入資格

単位子ども会市町村子連に所属する就学前3年の幼児（保護者も安全会加入者）から、育成者・指導者の方も加入できます。年齢の上限はありません。

★会費

一人あたり年額120円

★見舞金給付の要件

共済見舞金は、会員が給付対象の子ども会活動中に生じた「事故」に対して見舞金を支給する制度です。

★給付する見舞金

○会員が治療を受けた場合
医療保険制度を利用した医療費総額の50%（支払限度額50万円）

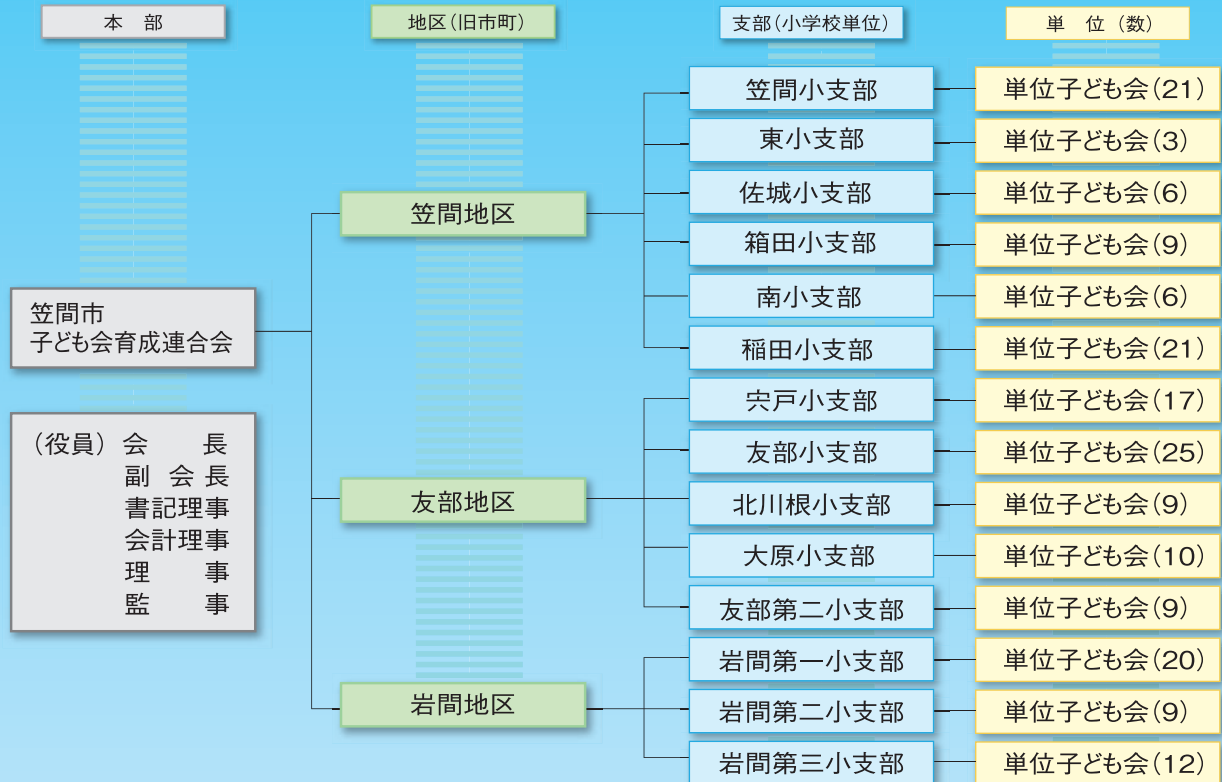
○会員が後遺障害を被った場合
程度に応じて
7万円～60万円

公的医療保険制度（健康保険等）を適用していない医療行為や、事故の日から180日を経過した医療行為、医療費総額の50%の額が1000円以下となった場合は給付されません。

「事故」が発生した場合は、速やかに単位子ども会会長へ連絡してください。



笠間市子ども会育成連合会組織図



組織の紹介

笠間市子ども会育成連合会は、行政区や自治会等をベースにした単位子ども会が基礎となり、その子ども会を小学校単位とする支部、旧市町を地区とする組織形態がなされており、笠間市の全体の連合組織が連合会です。連合会では、子ども会活動を支える保護者や地域の協力者(育成者)で構成され、育成者の資質向上や育成会活動の支援、連合会独自の行事を行い、子ども会活動を活発にし、子どもたちの健全育成を図ることを目的に活動しています。

現在、左記の事業を行っています。

- ① 笠間市・矢板市子ども会交流会
- ② 球技大会(ドッジボール・ソフトボール)
- ③ 夏休み作品コンクール
- ④ 子どもフェスティバル
- ⑤ 友・遊ランド(地区行事)
- ⑥ リーダー交流会

今後も活動主体である「子どもたち」の意見を積極的に取り入れ、楽しく参加できる事業を通じて、子どもの健全育成を図っていきます。

column

今回の発刊で皆様には、ご覧頂きながら一つでも参加したいという意識が芽生えてくることを念じます。(SM)

子ども会・育成会の皆さま「かさまっこ」創刊号を、ご覧いただきありがとうございます。楽しい行事に友達やお父さん、お母さんと皆で参加しましょう、お待ちしております。(KT)

まずは参加してみませんか？広報誌のなかで、多くの情報を提供して行きたいと思っています。(MM)

無邪気に一生懸命にゲームや競技に向かう子どもたちは素晴らしい(KM)

夢あれば理想あり、理想あれば目標あり、目標あれば実行あり、実行あれば成果あり、成果あれば喜びあり、他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えることができる。(KU)

すべての子ども達に想い出と喜びあふれ誰もが気軽に参加できる子ども会活動を支援して行きます。(MK)

「人間は負けたら終わりなのではない。辞めたら終わりなのだ」という偉人が遺した言葉に大変感銘を受けました。(KS)